

令和七年度 事業報告書



社会福祉法人 櫻 会

令和七年度 事業報告書 目次

I. 櫻会

1. 法人沿革及び法人事業		P.2
2. 事業所別職員配置	3. 櫻会 理事会・評議員会報告	P.3
4. 内部監査報告		P.4
5. 令和七年度 櫻会の状況報告		P.5
6. 会議・委員会実施報告書		P.10
7. 防災訓練実施報告		P.11
8. ボランティア受け入れ状況		P.12

II. 指定介護老人福祉施設 西砂ホーム

1. 保険者別入所者状況	2. 入退所状況	3. 入所者年齢状況	4. 在園期間状況	P.13
5. 要介護度状況	6. ADL 状況	7. 理髪実施状況報告		P.14
8. 外出、外泊状況	9. 面会状況			P.15
10. ショートステイ状況	11. ショートステイ評価			P.15
12. 年間行事実施状況				P.16
13. サークル活動実施状況	14. 医療状況			P.17
15. 栄養サービス実施状況				P.19
16. リハビリ実施報告				P.22
17. 苦情、相談状況	18. 研修、職員教育報告			P.23

III. 指定居宅介護支援事業所・にしすな福祉相談センター

1. 月次利用者対応実績	P.26
2. 福祉相談センター相談内容	P.27
3. 評価・課題	P.28

IV. 認知症対応型共同生活介護 グループホーム花梨

1. 入退所状況	2. 入所者年齢状況	3. 在園期間状況	P.30
4. 要介護度状況	5. ADL 状況	6. 理髪実施状況	P.31
7. 外出、外泊、面会状況	8. 年間行事実施状況		P.32
9. 花梨行事外出、活動実施状況			P.33
10. 評価、課題			P.34

V. 第三学童保育所

1. 在籍者状況	2. 学童保育所活動実施状況	P.35
3. 評価・課題		P.36

I. 櫛会

1. 法人沿革及び法人事業

法人設立	昭和 60 年 2 月 28 日	社会福祉法人 櫛会	
		理事長 吉間 秀雄	
事業開始	昭和 60 年 8 月 1 日	特別養護老人ホーム 西砂ホーム	100 床
定員	102 名		
設置面積	4668.8 m ²	鉄筋コンクリート造 3 階建	
併設事業	昭和 60 年 10 月 1 日	西砂高齢者在宅サービスセンター	
		通所事業 入浴サービス	10 名
		ショートステイ	4 床
		機能回復訓練	26 名
		(西砂ホーム)	
	昭和 63 年 4 月 1 日	西砂高齢者在宅サービスセンター	
		基本事業 デイホーム	30 名
		通所事業 ミドルステイ	1 名
	平成 4 年 4 月 1 日	痴呆性高齢者短期入所運営事業	1 名
	平成 7 年 4 月 1 日	痴呆性高齢者短期入所運営事業(西砂ホーム)	3 床
	平成 11 年 4 月 1 日	立川市西砂在宅介護支援センター受託	開設
	平成 12 年 4 月 1 日	介護老人福祉施設 西砂ホーム	開設
		短期入所生活介護事業(西砂ホーム併設)	開設
		通所介護事業(西砂高齢者在宅サービスセンター)	開設
		訪問介護事業(西砂ホームヘルプサービス)	開設
		西砂指定居宅介護支援事業所	開設
		西砂在宅介護支援センター	開設
	平成 13 年 4 月 1 日	西砂ホーム増床	102 床となる
	平成 15 年 4 月 1 日	ディサービスセンターつつじが丘	開設
		身体障害者、知的障害者、児童居宅介護支援事業所	
		(西砂ホームヘルプサービス)	開設
	平成 15 年 8 月 1 日	グループホーム花梨	開設
	平成 18 年 10 月 31 日	ディサービスセンターつつじが丘	閉鎖
	平成 24 年 12 月 31 日	西砂高齢者在宅サービスセンター	休止
	平成 25 年 10 月 1 日	西砂高齢者在宅サービスセンター	廃止
	平成 29 年 9 月 1 日	西砂第三学童保育所	開設
	平成 30 年 3 月 31 日	訪問介護事業(西砂ホームヘルプサービス)	廃止

2. 事業所別職員配置

(常勤換算 令和8年3月31日現在)

職 種	西砂ホーム	介護支援センター	グループホーム花梨	西砂第三学童
施設長(管理者)	1.00	1(1)	1.00	1.00
医 師	3.00			
生活相談員	2.69			
看護職員	5.60			
介護職員	41.00		14.00	2.84
介護支援専門員	1.49	4(1)	1.00	(支援員)
機能訓練指導員	1.20		(計画作成担当者)	
管理栄養士	1.00			
調理員	委託			
事務職員	3.50			
営繕	2.32			

() 契約または兼務の状況

3. 樺会 理事会・評議委員会報告

(1) 理事会開催報告

-1. 令和7年6月11日(水) 第177回

議案第1号 令和6年度事業報告及び計算書類承認の件

議案第2号 運営規定一部変更の件

議案第3号 監事監査報告の件

議案第4号 次期役員候補者推薦の件

議案第5号 定時評議員会開催の件

議案第6号 評議員選任解任委員会開催の件

報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の業務報告

② その他

-2. 令和7年6月27日(金) 第178回

議案第1号 理事長選任及び業務執行理事選任の件

-3. 令和7年12月5日(金) 第179回

議案第1号 就業規則一部変更の件

議案第2号 次世代介護機器・機器導入促進事業活用の件

議案第3号 半期収支報告の件

報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の業務報告

② その他

-4. 令和8年2月25日(水) 第180回

議案第1号 重要事項一部変更の件

議案第 2 号 次年度給食業務委託先更新の件

報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の業務報告

② その他

-5. 令和 8 年 3 月 12 日（木） 第 181 回

議案第 1 号 令和 7 年度補正予算の件

議案第 2 号 令和 8 年度事業計画及び収支予算の件

議案第 3 号 第 87 回評議員会開催の件

報告事項 ① 理事長及び業務執行理事の業務報告

② その他

(2) 評議員会開催報告

-1. 令和 7 年 6 月 27 日 第 86 回

議案第 1 号 令和 6 年度計算書類・財産目録承認の件

議案第 2 号 次期理事・監事候補者承認の件

報告事項 ① 令和 6 年度事業報告

② 監事監査報告

-2. 令和 8 年 3 月 27 日 第 87 回

議案第 1 号 令和 7 年度補正予算に関する件

議案第 2 号 令和 8 年度収支予算及び事業計画に関する件

4. 内部監査報告

令和 8 年 5 月 29 日（金） 監事監査（樺会 西砂ホーム多目的室）

出席者 井上監事 塩野監事 廣瀬施設長 三井事務長 4 名

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日までの理事長及び理事の業務執行、社会福祉法の会計、財産の状況について監査を実施。

(1) 監査の結果

-1. 事業報告書の監査結果

① 事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認める。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

-2. 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。利用者預り金が適切に管理してあると認める。

5. 令和七年度 櫛会の状況報告

櫛会の1年間

感染症対策に法人全体で取り組み、医療機関との連携、職員の感染症に対する意識の共有と訓練、利用者及び家族にも必要に応じて面会制限に協力をいただいた結果、1年間感染症を発生することなく過ごすことができた。物価高騰・人件費高騰・人手不足など大手企業の好景気の様相から、公定価格として福祉事業を運営する法人にとってはさらに難しい局面を感じる年になった。

福祉業界共通の課題である求人については、令和7年度より特定技能実習生1期生として3名のネパール人を採用し、令和8年度はインドネシア人の特定技能実習生4名を2期生として採用予定。生産性向上推進の取り組みとして、次世代介護機器及びテクノロジーを導入し、介護職員負担軽減に資する方策の実施。

地域貢献事業として学童2階の多目的室を地域の高齢者体操クラブの2団体に一年通して会場を提供し、地域の高齢者との交流を深めることができた。

(1) 事業実績

-1. 西砂ホーム

一年間利用者が感染症に罹患することなく事業を継続することができたことは評価できる。感染症の発生がなかったことから、稼働率も高水準を保っていたが年度後半に入院や退所者が続き、前年度から2%の上昇にとどまり目標とする稼働率には及ばなかったことは反省するところである。

見守りケアシステムベットや介護テクノロジー（タブレット・スマホ）を導入し、サービスの質を維持し、職員の負担軽減・業務効率化に取り組むことができた。介護職員不足もあり、業務に必要なスキル習得を得るための内部研修は計画通りに実施できたが、外部のセミナー・講座に介護職員の参加が当初の計画には及ばなかった。特定技能実習生の採用もあり介護職員は充足しつつあり、令和8年度は外部の研修・セミナー等に積極的に参加できる職場環境を構築していきたい。

-2. 居宅介護支援事業所・にしすな相談センター

12月末に所長が退職し、1月より新体制での運営となっており、ケアマネジャー4名体制となっている。主任ケアマネ3名となりと資格取得も進んでいる。

居宅で担当している利用者は月に130名前後となり、ケアプラン総数は年間1783件となっている。ケアマネジャー1人あたりの件数としては、前年度と大きく変わりはない。また、認定調査委託件数は35件と前年度より17件のマイナスとなっている。

福祉相談センターとして毎月開催している「にしすなカフェ」の活動に加え、1月より、「まみの歌声広場」も開催し、月2回の介護予防教室となっている。各回コンスタントに20名前後参加され地域課題の抽出に努めている。

-3. グループホーム

重度化した利用者対応に対し、職員のスキルを問われる年となった。年度中頃から長期入院やターミナル対応の利用者が続き、利用者ご家族への対応に思い悩むことも多くあった。最終的にはほとんどのご家族が満足いく形となったが、今後も重度化する利用者が多くなることが予想される中で、施設全体の体制、職員個々のスキル向上がより一層問われることが明確化し、それに向かって取り組むことへの確認ができた。

運営面では開設以来、年間を通じて1度も満床にならず、過去最低の年間稼働率となり、法人本部への負担も大きくかけてしまった。年度末に入所が続き、派遣職員の契約終了のめども立ち、令和8年度へ向けては少なからずいい形でつなぐことができたが、確実に目標達成ができるように引き続き取り組んで行く。

-4. 第三学童保育所

令和7年度は、定員42名の利用が4月度～9月度まで続いた。そのことが影響した訳では無いと考えてはいるが、保護者と職員、児童同士のトラブルが発生する事案があった。

年間を通して、感染症による学級閉鎖等なく通常保育を行うことができた。これまで実施してきた室内に入るタイミングでの手指消毒、サーキュレーターを使用し室内の空気の循環や換気に配慮していたことが感染拡大につながらずに済んだものと考えている。

夏休み期などの1日保育時において、配食サービスの実施を開始した。利用者数は、定員の2割程度で推移しており、今後も長期休暇等の際には利用していく予定である。

(2) ターミナルケア

当施設において看取りを行った方 11名

入院し病院で死亡された方 9名

- 1.前年度に引き続き適宜指針の見直し
 - 2.ターミナルケアプラン 立案・作成
 - 3. 医師やケアマネ、ワーカーとの相互連携
- 上記を基に下記の通り実施した。

- ① 状態が悪化した時点である台病院 往診医とご家族にて、ICを実施し、今後の方向性を決める

〈延命を希望の場合〉

- 1) 病院へ入院とする。

〈看取りを希望された場合〉

- 1) 医師より看取りの説明を行い、看取り同意書にサインしていただく。

2) 基本的には個室でご家族の面会を許可し貴重な時間を一緒に過ごしていただく(新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症 流行時は、2名までとし、15分以内)。

3) 必要に応じ酸素や点滴などを取り入れ苦痛の緩和に努めている。

4) あきる台病院医師または管理医にて死亡確認を実施。

② 看取りに関する職員研修の実施。

-4. 看取り期の見極めが困難なため、看取りの説明が間に合わないこともあった。

今後もあきる台病院との連携を密に行い、医師やスタッフとの連携をとりながら対応していきたい。また、利用者の状態を十分に把握し出来る限り苦痛の緩和に努めていきたい。

(3) 感染症

-1. インフルエンザ 発生者 なし

-2. ノロウイルス 発生者 なし

-3. 疥癬 発症者 なし

-4. 新型コロナウイルス 発症者 なし

感染症の発症者は、0人であった。昨年度までの感染症対策の研修も、役立っているものとする。3密を避け、人が集まる場所ではマスクを着用し、手洗いを徹底するよう、朝礼や感染症委員会にて、日々注意喚起し、体調不良時には、無理して出勤せず、上司や事務所に報告、連絡、相談をすることが出来た結果とする。

また、昨年度同様に、手洗い研修を実施し、さらにあきる台病院との連携で、防護服の着脱研修をあきる台病院看護師による講義を受け、さらに理解を深める事が出来た。そして、環境整備の必要性を周知し、感染対策はまず環境を整えることから始め、換気や清潔保持に努めることが出来た。令和8年度も継続できるよう日々努力していきたい。

(4) 褥瘡について

檉会の理念に基づき利用者に快適で安楽な生活を提供するために、褥瘡予防対策委員会を通じて職員教育の実施、褥瘡予防及び、改善、治癒を目標とした計画作成、ケアの実施、評価を確立し、職員間の連携と情報共有を図り褥瘡発生防止、褥瘡治癒に努めた。

-1. 褥瘡発生者報告

2階 1名(入院中に発症)

3階 2名(昨年からの継続者含む)

-2. 褥瘡発生者は、2階6名、3階4名であり、昨年度と比較し減少した。令和6年度は、新型コロナウイルス感染症のクラスターが1度発生し、計26名の感染発症。

インフルエンザ感染症も 2 階と 3 階の各階に感染発症し、計 14 名の感染者が出たため、清潔保持不足や人員不足による体位交換や除圧対応、早期発見が不十分だったことが挙げられるが、令和 7 年度は、感染症の発症が無く、清潔保持と早期発見、早期対応ができ、表皮剥離などのトラブルは 2 階 9 名、3 階 12 名であったが、褥瘡へ悪化させることなく、早期治癒させることができた。

また、2 階の発生者 1 名は、病院入院中に発生したため、外部からの持ち込みであった。3 階の発生者は昨年度からタウン訪問診療所が介入している方 1 名を含めているため、本年度の施設内で褥瘡まで悪化させてしまった利用者は、1 名のみである。目標である 0 名には届かなかったが、今後も介護職員、看護職員を中心に多職種の職員で協力しあい、定期的な体位交換の実施、利用者別に褥瘡好発部位の特定、観察を行い、早期予防、早期発見、早期治癒に努めていくこととする。

毎月 1 回の褥瘡委員会の継続、週 1 回の褥瘡評価の実施を継続し、褥瘡の改善、治癒に努め、令和 8 年度も褥瘡発生者 0 名を目標に取り組んでいくこととする。

(5) 事故防止

ヒヤリハット報告書を基に職員間で利用者の行動を観察し、未然に防げる事故については迅速な対応が出来るよう努めてきた結果、事故報告 32 件（うち骨折が西砂ホーム 6 件、花梨 3 件）と 10 件の減少となった。ただ、依然として服薬不足が多く、職員の確認不足が改善されていない結果となってしまった。また、特養では骨折が 1 件増えてしまい、職員が別の利用者の対応をしている時に起こった事故である事が目立った。事故や服薬不足をなくしていく為に、役割分担や職員の配置を再度見直し、服薬不足に関しては必ず 2 名以上での確認を継続、今後も職員間での声掛けを徹底し、安心安全な生活を送っていただけるよう努めていく。

(6) 権利擁護

「身体拘束に頼らない介護を提供する」ことを目標とし 1 年間、研修の実施、委員会での話し合いを行い、令和 7 年度も引き続き身体拘束者 0 名を維持することができた。これは、日々利用者の様子観察を行い、サービス提供する上で尊厳を損なわない方法を委員会やフロア内で話し合いを行い情報共有し、周知徹底を図ることで代替えの検討なく、身体拘束の開始を安易に行わないように取り組んだ結果と考える。

代替え案を取り入れ、職員間で引き続き日々の観察を行い令和 8 年度も引き続き身体拘束者 0 名を目標とし利用者が安心、安全に過ごせる環境を委員会が主となり施設全体で考え取り組んで行く。

(7) 苦情、要望

ご家族との面会については、対面/オンラインともに、前年度に引き続き、予約制での面会を実施し、苦情等の話は聞かれていない。また、面会時にはフロア職員より、ご家族に利用者の近況報告など日頃の様子などをお伝えすることで、信頼関係の構築に務め、要望についてもお伺いし、いただいた要望についてはフロアまたは委員会にて検討し、早急な対応を行った。

第三者評価(利用者調査)の結果を確認し、利用者が日々感じられている部分を知ることができたため、職員間の情報共有を図りながら、より良いサービス提供へとつなげていきたい。

季節ごとの行事も感染対策を実施しながらも、利用者に楽しんでいただくことが出来た。

令和8年度も施設全体で感染防止対策を継続しながら、利用者が安心して生活していただけるように寄り添ったサービスを提供していきたい。

(8) 福祉第三者評価

実施機関：(株)福祉規格総合研究所

調査内容：利用者調査…全ての利用者を対象に、聞き取り方式にて実施。

職員調査…マークシート方式と自由記述方式による事前アンケート、
各職種の職員に聞き取り調査。

評価：特に良いと思う点

- 1. 協力医療機関と介護・医療連携を進め、医療へのアクセスや入院、感染症対策がスムーズに進んでいる。
- 2. 地域との連携のもと、利用者の生活の幅を広げるための取り組みとして、多世代交流やボランティアの積極的な受入れ体制を整えている。
- 3. 従来の採用活動に加え各学校への訪問や合同説明会に参加するなどし、人材の確保に力を入れて取り組んでいる。

評価：さらなる改善が望まれる点

- 1. 各職種が専門性を持って業務に取り組むとともに、連携したチームケアを推進していくことが期待される。
- 2. 施設内での行事や余暇活動等が充実しているため、現在の利用者の状態に応じて地域に出向く機会や外出活動のさらなる実施が期待される。
- 3. 稼働率を確保して安定的な運営を継続しつつ、新規利用者の確保に向けて更なる情報の発信が期待される。

6. 会議・委員会実施報告

	内容	委員数	延回数	延人数
サービス改善委員会	・苦情について ・その他	13	12	156
リハビリ委員会	・新入所の訓練計画について ・ADLの確認 ・訓練内容の見直し ・その他 生活リハビリについて	5	6	30
給食委員会	・食形態について ・各月の行事予定 ・本入所について ・モニタリングについて	7	12	85
入所判定委員会	・入所内定者及び候補者状況	12	12	144
褥瘡対策委員会	・新入所について ・褥瘡処置者経過報告 ・その他	8	12	101
防災・安全・生活環境委員会	・各月 防災訓練の実施および反省について	17	12	204
感染症対策委員会	・施設内感染者報告 ・コロナワクチン接種報告 ・防護服着脱研修 ・面会・外出について ・環境部整備について ・その他	10	5	51
衛生委員会	・健康診断について ・ストレスチェックの結果について ・各職場状況について	8	12	125
身体拘束廃止委員会	・利用者近況報告 ・その他	5	12	60
事故発生防止委員会	・各月の事故・ヒヤリハット報告 ・センサーマット ・車椅子チェック状況 ・見守り支援ベットについて	10	12	120
口腔衛生委員会	・新入所者について ・みどり歯科口腔ケア参加職員 ・その他	4	12	48
排泄・入浴委員会	・新入所者について ・個別対応について ・ユニチャームによるオムツ研修実施	5	6	32
虐待防止委員会	・各月の振り返り ・利用者の投書について	13	2	23

生産性向上委員会	・業務改善に向けての動画視聴および 今後の活動について ・その他	13	4	52
LIFE 委員会	・各月の提出者について ・フィードバック	7	12	84
全体会	・各事業所/部署からの報告/連絡/相談事項 ・各委員会活動報告	14	6	84

7. 防災訓練実施報告

(1) 評価・反省

- 1. 年度内に2回の合同訓練を実施できたことは評価できるが、利用者を含めた避難訓練があまりできなかったことは次年度にむけての課題である。
- 2. BCP(業務継続計画)災害対応訓練が緊急時に事業を継続するためになっていたか確認し、課題を洗い出し、BCP改訂及び次年度訓練をシミュレーションする。

(2) 防災訓練実施状況

実施月	訓練 種類	訓練内容	参加人数
令和7年 4月	その他	施設内消防設備等の取扱い学習	8名
5月	救急訓練	講師派遣型研修、映像による事例・AED 取り扱い訓練	20名
6月	消火訓練	消火器、消火栓取り扱い訓練	17名
7月	避難訓練	火災を想定した避難・誘導訓練	14名
8月	消火訓練	夜勤者を主とした消火器・屋内消火栓取り扱い訓練	15名
9月	消火訓練	夜勤者を主とした消火器・屋内消火栓取り扱い訓練	15名
10月	合同訓練	敬愛会・自治会との災害時応援協定に基づく合同訓練	20名
11月	総合訓練	火災を想定した通報・初期消火・避難訓練	15名
12月	救急訓練	応急手当・AED 取り扱い訓練	24名
令和8年 1月	総合訓練	夜間の火災を想定した訓練	9名
2月	消火訓練	消火器・屋内消火栓取り扱い訓練	13名
3月	合同訓練	敬愛会、自治会との災害応援協定に基づく合同防災訓練	19名

(3) BCP 災害訓練実施状況

実施月	訓練 種類	訓練内容	参加人数
令和 7 年 8 月	大雨・強風対策訓練	自然災害を想定した避難・誘導訓練	15 名
令和 8 年 1 月	緊急連絡網伝達訓練	BCP 計画に基づく災害時職員安否確認等、活用訓練	全職員

8. ボランティア受け入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
サークル	25	25	25	25	7	25	25	25	18	18	25	25	268

- (1) 今年度はフロア職員の協力及びご家族の協力もあり、フロアでのインフルエンザ等の感染症によるクラスターもなく、サークル活動の中止はなく開催することができた。
- (2) 西砂カフェに来ていただいている方に、ボランティアの声掛け等をしたところ 1 名の方がボランティアで参加していただけた。今後も同様にボランティアを募っていく、外部への参加・交流を積極的に行い、情報発信とボランティア受入を行ってきたい。

Ⅱ. 指定介護老人福祉施設 西砂ホーム

1. 保険者別入所者状況

計 97 名

令和 8 年 3 月 31 日現在

立川市	67	小平市	2	練馬区	2		
昭島市	17	小金井市	2	那須塩原市	1		
武蔵村山市	1	東村山市	1	二宮町	1		
東大和市	2	国立市	1				

年間延べ利用者数

34,365床

2. 入退所状況

月	入 所					退 所				
	自宅	病院	老健	その他	計	死亡	長期入院	家族引取	その他	計
4	1	1	1	0	3	2	1	0	0	3
5	1	3	0	0	4	5	1	0	0	6
6	2	1	0	0	3	1	1	0	0	2
7	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
8	2	2	1	0	5	1	0	0	0	1
9	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
11	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
12	1	0	3	0	4	1	0	0	0	1
1	1	0	1	0	2	1	0	0	0	1
2	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
3	0	1	1	0	2	5	1	0	0	6
計	10	8	8	0	26	20	4	0	1	25

3. 入所者年齢状況

	60～69	70～79	80～89	90～99	100～	合 計
男性	0	7	9	12	0	28
女性	0	10	31	27	1	69
合計	0	17	40	39	1	97

平均年齢 全体 86.6 歳 男性 85.5 歳 女性 87.1 歳

最年長 男性 98 歳 女性 101 歳

最年少 男性 70 歳 女性 75 歳

4. 在園期間状況

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上	計
男性	12	6	0	1	0	1	8	28
女性	13	10	12	7	6	1	20	69
合計	25	16	12	8	6	2	28	97

5. 要介護度状況

	自立	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	0	0	1	1	7	11	8	28
女性	0	0	0	0	18	32	19	69
合計	0	0	1	1	25	43	27	97

6. ADL 状況(入院者等を除く)

(1) 食事

	男性	女性	計
自立	14	20	34
見守り	3	11	14
一部介助	3	14	17
全介助	3	19	22
計	23	64	87

(2) 排泄

	男性	女性	計
自立	4	6	10
昼夜トイレ誘導	3	2	5
常時オムツ	7	31	38
日中トイレ誘導、夜間オムツ	7	24	31
日中トイレ誘導、夜間 P トイレ	2	1	3
昼夜 P トイレ	0	0	0
尿器使用	0	0	0
計	23	64	87

(3) 更衣

	男性	女性	計
自立	11	8	19
一部	2	23	25
全介助	10	33	43
計	23	64	87

(4) 洗面

	男性	女性	計
自立	8	26	34
一部	11	12	23
全介助	4	26	30
計	23	64	87

(5) 移動形態

	男性	女性	計
独歩	2	1	3
手引き	0	0	0
歩行器(杖)	4	8	12
車椅子	17	55	72
計	23	64	87

7. 理髪実施状況報告

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	7	7	13	11	11	10	12	11	11	10	11	12	126
女性	24	29	14	26	30	27	15	40	17	41	17	26	306
計	31	36	27	37	41	37	27	51	28	51	28	38	432

1 ヶ月平均 男性 10.5 名 女性 25.5 名

8. 外出、外泊状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外出	0	4	13	11	7	6	12	12	0	0	0	0	65
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	4	13	11	7	6	12	12	0	0	0	0	65

9. 面会状況(対面及びオンライン)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	102	102	112	116	119	110	121	158	89	0	8	14	1051

面会者数内訳(利用者年間面会者数内訳)

回数	0	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25以上
人数	40	45	20	4	5	0	1

10. ショートステイ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男性	3	3	3	2	3	3	3	4	4	2	1	1	32
女性	3	3	3	1	2	2	1	2	3	1	1	3	25
実績	6	6	6	3	5	5	4	6	7	3	2	4	57
延人数	99	128	101	55	72	70	69	89	91	43	27	40	884

11. ショートステイ評価

- (1) 定員4床と特養空床を合わせてより多くの利用者にサービスを提供できる体制を整えており、令和7年度は、5名の方の新規のご利用を頂いた。ただ、上半期に新規のご利用を増やす事ができなかった事と、ショートをご利用頂いている既存の利用者が数名当ホームに本入所された事により、前年度と比べて利用回数を大幅に減らす事になってしまった。今後も既存の利用者が本入所になる事が考えられる為、日頃から外部のケアマネ等と連絡を取り、安定した新規の獲得に努めなければならない。
- (2) サービス向上を図ることを目的に、利用者、ご家族へのご要望をお聞きし、満足できるサービスにつなげて行けるように支援を心掛けた。今後も、ご家族と連携をとりながら、利用者のニーズにお応えし、より良いサービスを提供できる体制を継続していく。
- (3) 入所前や入所中の体調などの確認と感染症防止対応を徹底していくことで、ショートステイ利用者の健康管理に努めた。
今後も利用者やご家族、担当ケアマネ等の外部関係機関との連携をより密にし、安全で安心な在宅生活を継続して頂けるように支援する。

12. 年間行事実施状況

実施日	行 事 名	実 施 内 容
4 月 8.11 日	桜祭り	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
4 月 15.18 日	誕生日会	4 月生まれの誕生者を祝う。
5 月 16.19 日	端午の節句	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
5 月 10.23 日	誕生日会	5 月生まれの誕生者を祝う。
5 月 24 日	春の衣類販売	(株) お元気ですか様の出張販売にて園内ショッピングを楽しむ。
6 月 10.13 日	入梅払い	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
6 月 17.20 日	誕生日会	6 月生まれの誕生者を祝う。
7 月 8.10 日	七夕まつり	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
7 月 21.25 日	誕生日会	7 月生まれの誕生者を祝う。
8 月 12.15	創立記念祭	西砂ホーム創立記念を祝う。
8 月 19.26 日	誕生日会	8 月生まれの誕生者を祝う。
9 月 9.12 日	お月見会	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
9 月 15.19 日	誕生日会	9 月生まれの誕生者を祝う。
10 月 4 日	長寿を祝う会	敬老を祝してお祝いをする。
10 月 20.24 日	誕生日会	10 月生まれの誕生者を祝う。
11 月 8 日	秋の衣類販売	(株) お元気ですか様の出張販売にて園内ショッピングを楽しむ。
11 月 18.28 日	誕生日会	11 月生まれの誕生者を祝う。
12 月 8.12 日	Xmas 会	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
12 月 16.23 日	誕生日会	12 月生まれの誕生者を祝う。
1 月 9.19 日	新年祝賀会	一年の始まりをみんなで祝う。
1 月 27.30 日	誕生日会	1 月生まれの誕生者を祝う。
2 月 10.13 日	節分	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
2 月 17.20 日	誕生日会	2 月生まれの誕生者を祝う。
3 月 10.16 日	ひな祭り	季節のイベントを開催し季節感を感じていただく。
3 月 24.27 日	誕生日会	3 月生まれの誕生者を祝う。

13. サークル活動実施状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
民謡	回数	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	35
	人数	187	194	183	187	186	211	211	209	165	215	217	202	2367
書道	回数	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	47
	人数	170	156	118	82	160	177	159	165	171	171	174	166	1869
カラオケ	回数	4	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	4	49
	人数	207	226	254	271	230	196	233	261	197	168	172	202	2617
塗り絵	回数	3	3	3	5	3	3	4	3	4	3	3	3	40
	人数	128	140	134	191	126	156	162	143	188	150	159	135	1812
生涯現役 倶楽部	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	人数	121	132	128	135	110	141	137	138	145	138	142	137	1604
遊びり	回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	人数	79	85	88	89	89	94	93	90	89	95	92	89	1072
その他	回数	2	2	2	2	2	2	0	4	0	2	2	5	25
	人数	85	40	50	47	41	33	0	23	0	50	60	68	497
合計	回数	20	21	21	22	20	20	19	22	18	19	19	23	244
	人数	977	973	955	1002	942	1008	995	1029	955	987	1016	999	10439

14. 医療状況

(1) 特養入退院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	3	6	4	2	0	1	1	3	3	1	6	9	39
退院	1	6	2	1	2	0	2	1	3	1	1	2	22
病院で退所	2	3	1	2	1	0	0	0	0	0	1	3	13

(2) 特養入院期間

期間(日)	1～15	16～30	31～45	46～60	61～75	76～90	90以上	計
人数	33	17	11	6	3	1	3	74

(3) 特養死亡状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	3	9
計	1	2	1	0	0	0	1	0	1	1	0	3	10

(4) 特養健康診断実施状況

	施行日	受診者数
胸部レントゲン撮	8月20日	84名
採血	8月20日	84名
採尿	8月20日	84名
心電図	8月20日	84名

(5) インフルエンザ予防接種 実施状況

	施行日	実施者数
西砂ホーム	11月26日	91名
花梨	10月24日	14名
職員	11月中	82名

(6) 通院医療機関利用状況

通院医療機関利用状況																												令和7年度	
病院名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		小計		総計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
目白第二病院	1	1							1				1		1	1			1				1		1	3	7		
西徳洲会病院	5	3	3	3	4		4	3	3	3	3	3	4	3	2	1	2		4	2	4		4	1	1	42	22		
古岡整形外科							1		1		1						1			1				1	0	6	6		
昭島病院							1												1				1	1	1	3	4		
うしお病院	1	2		2	2	1			1		2		1				1				2		2	1	12	6	18		
武蔵村山病院			1				1				1				1				1						5	0	5		
災害医療センター					1					3	3			2	1	2			1				3		1	2	17		
くびらの森皮膚科			1							1			1		1		1			1			1		7	1	8		
西砂歯科	1									1		1													1	2	3		
タウソ訪問診療		1		1		1				1		1		1		1		1		1				1	0	12	12		
すがもと眼科																									1	2	3		
あきる台病院		1			1																				1	2	3		
相互歯科(訪問)	1		2		2		2		2	1	2	1	2	1	2	1	2	1			1		1	1	1	19	7		
豊泉胃腸科外科																									0	0	0		
多摩総合医療センター						1			1		1			1									1		0	5	5		
立川相互病院																									0	0	0		
立川相互ふれあいクリニック			1		1	2			1	1		1	1			1				1					6	5	11		
おおたか脳神経外科																									0	1	1		
ふれあい町田ホスピタル													1										1		0	2	2		
恵仁会病院																	1							1	0	1	1		
立川病院																								1	0	1	1		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
																									0	0	0		
計	9	8	8	7	12	4	9	16	7	11	9	7	9	9	8	7	7	3	7	8	8	9	8	10	101	99	2000		

15. 栄養サービス実施状況

(1) 食事区分

主食		副食		療養食	
区分	割合	区分	割合	延べ人数	12,394 名
米飯	23%	常菜	6%		
全粥	58%	一口大	27%		
ミキサー粥	16%	刻み	51%		
経管栄養	3%	ミキサー	14%		

- ・アレルギーや嗜好による代替食を提供。
- ・褥瘡や栄養不良のある利用者には個別対応を実施。

(2) 給与栄養量

	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	脂質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	ビタミン				食塩 相当 (g)	食物繊維 総量 (g)
						A (μ gRAE)	B1 (mg)	B2 (mg)	C (mg)		
4 月	1612	63.0	46.0	950	8.8	826	1.64	1.79	117	6.7	25.9
5 月	1623	63.2	46.0	987	9.2	839	1.59	1.73	123	6.7	26.4
6 月	1605	62.9	44.4	954	8.7	907	1.63	1.69	118	6.7	26.3
7 月	1613	63.1	45.7	919	8.6	837	1.61	1.67	104	6.6	25.9
8 月	1613	61.9	45.7	960	8.5	851	1.55	1.60	107	6.6	26.3
9 月	1601	62.8	43.5	956	8.9	901	1.62	1.70	115	6.7	26.6
10 月	1611	62.7	44.4	982	9.1	835	1.55	1.62	114	6.8	26.6
11 月	1588	62.2	43.4	933	8.6	822	1.67	1.77	136	6.6	26.0
12 月	1594	62.7	43.3	956	8.9	857	1.62	1.71	138	6.7	26.4
1 月	1596	62.3	43.8	961	8.6	822	1.58	1.69	106	6.7	26.2
2 月	1593	62.8	43.4	964	8.8	807	1.62	1.74	109	6.8	26.0
3 月	1602	63.3	43.7	943	9.1	684	1.53	1.59	116	6.7	26.8
平均	1604	62.7	44.4	955	8.9	832	1.60	1.69	117	6.7	26.3
給与栄養目標量	1600	60.0	45.0	700	7.0	800	1.20	1.30	100	7.5	16.0
充足率 (%)	100%	105%	115%	92%	130%	126%	137%	103%	111%	96%	164%

炭水化物エネルギー比・・・59.4%

脂肪エネルギー比・・・・・・25%

たんぱく質エネルギー比・・・15.6%

(3) 行事食

月	行事	献立内容
4 月	ごちそうの日	にぎり寿司 すまし汁 漬物 デザート
	旅するランチ	神奈川：サンマー麺 マグロカツ フルーツ
	旅するランチ	青森：御飯 バラ焼き リンゴとさつま芋のフレンチサラダ デザート けんちん汁

5月	端午の節句	子供の日ランチプレート チキンライス エビフライプレート クラムチャウダー
	旅するランチ	東京：深川飯 東京発祥の小松菜と豚肉の炒め物 胡瓜のみぞれ和え みそちゃんこ
	旅するランチ	仙台：はらこ飯 油麴の卵とじ 甘味(ずんだかけ) 鮭のあら汁
6月	旅するランチ	神奈川：しらす丼 天ぷら けんちん汁
7月	七夕	ちらし寿司 コロッケ 水まんじゅう そうめんのお吸い物
	旅するランチ	静岡：ご飯 浜松餃子 しらすと胡瓜の和え物 オニオンスープ
	土用の丑	うなぎ丼 天ぷら 塩ちゃんこ
	旅するランチ	イタリア：デミグラスハンバーグ 玉ねぎのマリネ パンプキンスープ
8月	創立記念日	赤飯 すまし汁 天ぷら盛り合わせ 煮物 漬物
	夏祭り	ご飯 屋台メニュー 海老と夏野菜の冷やし鉢
	旅するランチ	沖縄：タコライス モズクのかき揚げ マンゴーヨーグルト アーサー汁
	旅するランチ	愛知：ご飯 みそカツ 冬瓜汁
9月	重陽の節句	栗ご飯 銀だらの西京焼き 茄子の菊花和え 野菜を食べる卵スープ
	旅するランチ	長崎：ちゃんぽん 海老カツ
	敬老の日	赤飯 すまし汁 天ぷら盛り合わせ さつま芋のバター煮
10月	旅するランチ	イタリア：バターライス 赤魚のアクアパッツァ ジャーマンポテト かぼちゃのスープ
	十五夜	お月見饅頭 芋煮汁
	旅するランチ	北海道：味噌バターラーメン 春巻き フルーツ
	ハロウィン	オムライス 秋野菜サラダ パンプキンプリン クラムチャウダー
11月	ごちそうの日	ちらし寿司 すまし汁 漬物 デザート
12月	旅するランチ	山梨：ほうとう 鶏もつ煮
	旅するランチ	関西巡り：かやこ飯(大阪) 飛鳥鍋(奈良) 菊菜の海苔風味和え(京都) ごま豆腐(和歌山)
	クリスマス	バターライス クリスマスハンバーグ シーフードマリネ ミニケーキ ミネストローネ
	冬至	かぼちゃのいとこ煮
	ごちそうの日	握りずし すまし汁 漬物 デザート
	大晦日	年越しそば
1月	元旦	赤飯 おせち料理盛り合わせ ねぎとろ 雑煮風汁
	ごちそうの日	ばらちらし すまし汁 漬物 デザート
	旅するランチ	宮崎：チキン南蛮 マカロニサラダ デザート パンプキンスープ
2月	旅するランチ	韓国：ビビンバ チヂミ 春雨スープ
	バレンタイン	バレンタインデザート
	ごちそうの日	ちらし寿司 すまし汁 漬物 デザート
	旅するランチ	香川：しっぽくうどん けんちゃん デザート
	旅するランチ	埼玉：豚みそ漬け焼き さつま芋とベーコンの炒め物
3月	ひな祭り	ちらし寿司 鰯のネギみそ焼き 菜の花のごまあえ 若竹汁

	旅するランチ	韓国：ビビンバ パンサンスー ワンタンスープ
	旅するランチ	北海道：サーモンのチャンチャン焼き のっぺい汁
	お彼岸	三色おはぎ
	ごちそうの日	ねぎとろ丼 漬物 デザート すまし汁

(4) 残菜調査 第1回 令和7年 5月12日～15日

第2回 令和7年11月18日～21日

(5) 嗜好調査

調査期間 令和8年2月4日～2月20日 聞き取り人数54名

(6) 栄養ケアマネジメント

入所者全員に実施するとともに、定期的にモニタリングを行い、多職種協働により栄養改善を図った。

(7) 衛生管理

通常の衛生管理に加え、感染症対応として職員の検温を実施。また、厨房における感染症発生マニュアルを見直した。委託業者による感染症・食中毒の研修もあわせて実施した。

(8) 防災対策

利用者と近隣・地域の方用にそれぞれ3日分備蓄。また、消費期限を確認し、ローリングストックにて、随時入れ替えを実施。

(9) 評価・反省

- 1.主食では米飯に比べ全粥とミキサー粥を召し上がっている利用者が多く
副食では常菜、一口大に比べ刻みとミキサーの方が半数以上であった。
- 2.栄養量では昨年より大幅に献立を変更した為全栄養量がUPした。
- 3.毎日の昼食にテーマがあり、その中で旅するランチといって、国内外の料理を提供し楽しんでもらえた。
行事食では見た目の楽しさや季節感を味わっていただけるようカードとともに取り入れた。
11月から4月まではごちそうの日に生物を使った寿司を提供し喜んでいただいた。
- 4.残菜調査は年2回、4日間ずつ行った。
昨年と比べ残菜は減っている。

新食事メニューに変わり少量、高栄養になった為、また朝・夕の主菜皿を蓋付きのものに変更し、パサつきなく、食べ易くなった為であると思われる。

- 5.嗜好調査では、主食のかたさ、量。副食の味付け、量について聞き取りを実施。食事はほとんどの利用者が美味しいと回答をいただいた。
主食のかたさ、量。副食の味付け、量共 80%以上の利用者に満足していただいていることがわかった。
今後も委託業者と連携を図り利用者に安全安心なおいしい食事が提供できるよう努力したい。
- 6.栄養ケアマネジメントでは、食事内容を変更し、栄養量が増えたため利用者の体重が増え、低栄養リスクの中リスクから低リスクに変わった方が増えた。
- 7.衛生面では、食中毒、感染症の発生は無く、食事提供が行えた。今後も衛生研修等を行い、個々人の体調に留意し安全に業務が行えるように努めていく。
- 8.厨房における災害発生時対応マニュアル、感染症発生時マニュアルを都度見直しより良いものに変更していく。

16. リハビリ実施報告

機能訓練	延べ実施数	機能訓練	延べ実施数
マッサージ数	5,653 名	作業療法	3,984 名
個別訓練 (ROM、筋力運動)	129,887 名	その他のサークル	17,033 名
グループ体操	25,038 名	コミュニケーション その他	34,127 名
遊びりテーション	1,074 名		

(1) 評価

- 1. ケアマネ・介護職員・看護師・機能訓練士でサービス担当者会議やリハビリ委員会で利用者の ADL を共有しプランを立てることが出来た。
- 2. 遊びりテーションは、介護職員の協力により、多くの利用者が参加出来た。
- 3. 生涯現役クラブでは集団で楽しく身体を動かす事が出来た。
- 4. モニタリング記録は介護職員と連携し、作成している。

(2) 反省

- 1. 利用者本人の ADL を十分に引き出せず介助してしまうことが多かった。
- 2. 十分に利用者の訓練計画をワーカーに伝えているが、なかなか実践出来ていない部分がある（ポジショニング、歩行介助、移乗介助）。
- 3. 介護職員の判断のみで訓練内容が変わってしまう事があった。

17. 苦情・相談 状況

苦情・相談案件について、利用者、家族共に聞かれていない。引き続き、利用者やご家族からの声に耳を傾け、苦情や相談が聞かれた際は、施設で改善出きる部分は早急に改善し、各部署で情報を共有しながら利用者やご家族に安心していただけるサービスを提供していく。

18. 研修、職員教育報告

(1) 外部研修

- 1. 栄養管理講習会 R7.9.16
 【参加者】管理栄養士 木口 由美子
 【主催者】東京都多摩立川保健所
- 2. ショートステイ情報交換会 R7.10.16
 【参加者】相談員 板橋 仁美
 【主催者】東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会
- 3. 介護福祉職のためのコミュニケーションスキル向上セミナー R8.2.2
 【参加者】川越 裕子、板橋 仁美、鈴木 弥生、石田 美佐子
 【主催者】立川市高齢者施設研修会
- 4. ショートステイ情報交換会 R8.2.10
 【参加者】相談員 板橋 仁美
 【主催者】東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会

(2) 職員研修

-1. 一年を通して行う研修

月	研修議題	研修内容	参加数
4月	・職員マナーについて	・挨拶、言葉遣い、接客対応等接遇マナーについて学ぶ	57名
5月	・虐待防止 ・感染症及び食中毒予防蔓延防止について	・適切な事業運営の確保のための職員が守るべき倫理、法令 ・食中毒に関する正しい知識と予防法を学ぶ	53名 56名
6月	・認知症の基礎研修 ・倫理及び法令遵守について	・認知症の種類や周辺症状について、利用者の接し方について ・適切な事業運営の確保のための職員が守るべき倫理、法令など	57名 56名
7月	・事故発生防止又はその発生の防止	・個別事故の分析、防止策及び介護事故発生時の対応	57名

	・身体拘束廃止に向けて	・身体拘束が及ぼす影響について	54 名
8 月	・ターミナルケア等の考 え方 ・褥瘡予防について	・ターミナルケアの本質を学び利用者、ご家 族への対応について考える。	56 名
		・褥瘡のメカニズム、体位変換方法について 学ぶ	53 名
9 月	・プライバシーについて ・認知症の周辺症状について	・利用者本位の介護サービスの質の確保とし て、利用者等のプライバシーの保護につい て学ぶ	53 名
		・徘徊、暴言、介護拒否等の対応について	45 名
10 月	・感染症及び食中毒、予 防蔓延防止	・ノロウイルス感染症、インフルエンザ予 防、新型コロナウイルス感染症等発生対応	56 名
12 月	・自立支援に向けてのケ ア ・介護職員の医療ケアに ついて	・介護における自立支援について	63 名
		・介護職員が行える医療行為と行えない医療 行為を学ぶ	63 名
1 月	・食事について	・誤嚥を防止し安全な食事介助、誤嚥した際 の対応について	62 名
2 月	・虐待防止について ・ターミナル期における 精神的ケアについて ・事故発生防止又はその 発生防止	・高齢者虐待防止・対策について、早期発見 の対応、報告、改善策について	63 名
		・利用者、ご家族への精神的ケアについて	45 名
		・個別事例の分析及び介護事故発生時の対応 防止策	56 名
3 月	・身体拘束廃止に向けて ・褥瘡対策	・身体拘束を排除するための取り組み	56 名
		・褥瘡のメカニズム、体位交換方法、褥瘡状 況の管理について	51 名

3. 新人研修について

就業理論、マナー接遇、感染症、虐待、事故防止,虐待防止、身体拘束、褥瘡予防対
策について

新人採用があった際上記内容の研修を随時実施。

新人研修者名

- ・高松哲也 ・ライ マンギタ ・ジレル サミクシャ ・チャウラガイン リズ
- ・平井由佳 ・住田麻琴 ・清水悦子 ・品川笑夢 ・本目恭子
- ・荻野枝理子 ・三石昌央 ・室谷五月 ・小野真理 ・天野英光 ・長瀬梨香
- ・中山晶子 ・堀内るみ子

(3) 職員資格取得状況

- 1. 主任介護支援専門員 1 名

Ⅲ. 指定居宅介護支援事業所・にしすな福祉相談センター

1. 月次利用者対応実績

(1) 介護保険認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	2	0	2	3	4	3	2	3	4	3	5	4	35

(2) 介護度別居宅サービス計画作成件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合事業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	19	20	19	20	20	20	19	16	15	14	15	15	212
要支援2	22	22	22	21	20	19	20	22	22	19	20	21	250
要支援計	42	43	42	42	41	40	40	39	38	34	36	37	474
介護度1	53	56	55	55	56	56	55	54	58	51	50	50	649
介護度2	21	22	21	25	25	23	20	19	20	15	15	15	241
介護度3	18	17	20	19	18	18	21	28	23	18	17	19	236
介護度4	9	14	13	11	12	11	9	10	11	11	11	8	130
介護度5	6	5	4	4	4	4	3	7	5	4	3	4	53
介護計	107	114	113	114	115	112	108	118	117	99	96	96	1309
総合計	149	157	155	156	156	152	148	157	155	133	132	133	1783

(3) 申請代行件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護保険	12	17	9	7	12	13	12	15	8	14	5	16	140
その他	0	1	1	2	3	0	3	0	3	4	2	2	21
計	12	18	10	9	15	13	15	15	11	18	7	18	161

2. 福祉相談センター相談内容

	相談の内容など	4月	累計	5月	累計	6月	累計	7月	累計	8月	累計	9月	累計	10月	累計	11月	累計	12月	累計	1月	累計	2月	累計	3月	累計
1	訪問介護	4	4	6	10	4	14	3	17	4	21	2	23	0	23	2	25	3	28	1	29	0	29	4	33
2	訪問入浴介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	訪問看護	3	3	0	3	2	5	1	6	0	6	2	8	2	10	1	11	2	13	4	17	1	18	2	20
4	訪問リハビリテーション	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	通所介護	3	3	4	7	5	12	0	12	11	23	6	29	2	31	4	35	4	39	0	39	4	43	11	54
6	通所リハビリテーション	2	2	1	3	1	4	0	4	1	5	0	5	0	5	1	6	0	6	0	6	0	6	1	7
7	福祉用具貸与	6	6	3	9	3	12	1	13	3	16	2	18	2	20	10	30	7	37	7	44	1	45	2	47
8	短期入所生活介護	3	3	6	9	1	10	3	13	3	16	1	17	2	19	4	23	3	26	5	31	4	35	6	41
9	短期入所療養介護	1	1	1	2	1	3	0	3	3	6	0	6	2	8	0	8	0	8	1	9	0	9	0	9
10	居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	2
11	認知症対応型共同生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
12	居宅介護支援	34	34	79	113	53	166	56	222	58	280	37	317	59	376	58	434	55	489	48	537	53	590	36	626
13	介護福祉施設サービス	0	0	1	1	2	3	0	3	0	3	0	3	0	3	1	4	0	4	0	4	0	4	0	4
14	介護保健施設サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	2	0	2
15	福祉用具購入費支給	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	住宅改修費支給	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	2	0	2	0	2	0	2
17	福祉相談	27	27	43	70	32	102	31	133	39	172	24	196	37	233	26	259	27	286	56	342	29	371	57	428
18	配食サービス	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
19	寝具乾燥消毒サービス	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
20	訪問理容サービス	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	1	2	0	2	1	3	0	3
21	家具転倒防止器具設置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	火災安全システム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	住宅改修アドバイザー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	おむつ貸与等助成	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	0	2	0	2	0	2	0	2	2	4	0	4	0	4
25	緊急通報システム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
26	シルバー人材センター活用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	その他	8	8	6	14	10	24	7	31	14	45	1	46	4	50	3	53	2	55	5	60	8	68	2	70
	合計	92	92	151	243	117	360	102	462	137	599	75	674	111	785	111	896	106	1002	130	1132	102	1234	121	1355

3. 評価・課題

(1) 西砂指定居宅介護支援事業所

-1. 評価

令和7年度は前任の管理者が12月末での退職となった為、管理者が10月から変更になった。1月からは4名のケアマネ事業所として活動している。遅番業務がなくなり1年以上経過したが利用者や他事業者からの、指摘もなく業務が継続できている。会社携帯を各ケアマネが持つことができるようになり、利用者からの連絡を事務所に戻る事なく訪問中等にLINEで送り、利用者やサービス事業者との連携がスムーズにできるようになった。包括支援センターからのケアマネ依頼もスムーズに対応することが出来ている。

ケアプラン件数は前年比で介護予防プランは-28件、要介護プランは-61件、年間プラン数は1783件で前年度より+13件となっている。認定調査件数は35件と前年度より-17件となった。立川市だけではなく武蔵村山市の要介護プランや介護予防プランを担当する事になった。

毎日の朝礼・夕礼での情報共有、課内勉強会など介護保険制度の理解、知識向上に取り組んでいる。

-2. 課題

生活困窮者、認知症や持病により自宅での生活が難しい方等、複雑なケースが増えてきている。急に介護をする事になり介護者が精神的、肉体的に不安をかかえるケースもありビジネスケアラーへの対応や知識をもつ事が重要となっている。

プラン件数を増やしたいが福祉相談センターとの兼務のため受け持てる件数を抑えたり、相談に来られケアマネ依頼があったとしても地域のケアマネに引き継ぐケースもあり、より安定した運営のために（若い世代）ケアマネの増員が課題になっている。

(2) にしすな福祉相談センター

-1. 評価

毎月開催している介護予防教室「にしすなカフェ」の活動も安定して20名前後の参加者がある。令和8年1月より「まみの歌声広場」の開催を始め、月2回の介護予防教室を開催する事になった。地域の方の交流の場となっていて教室参加者から介護相談などへと繋ぐことも出来ている。ボランティアの募集を募り2名の方が手伝って下さっている。

昨年同様、近隣デイサービスと共催してセンター1階で展覧会も実施することが出来た。

-2. 課題

参加者は固定の参加が殆どで会場には徒歩や自転車の方が多くバスや電車での利用では不便さがあり新規の参加者が増えない傾向にある。

来年は、web サイトでの発行を考えていて相談センターの周知に繋げたい。

Ⅳ. 認知症対応型共同生活介護

グループホーム花梨

1. 入退所状況

	入所					退所				
	在宅	病院	施設	その他	計	引取り	他施設	入院	その他	計
4月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0
計	1	1	2	0	4	0	0	3	2	5

2. 入所者年齢状況

	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100～	計
男性	0	1	2	0	0	3
女性	0	3	3	6	1	13
計	0	4	5	6	0	16

	最年長	最年少	平均
男性	82	72	78.3
女性	100	78	88.0
計			86.2

3. 在園期間状況

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～5年	5年～6年	6年～	計
男性	2	0	1	0	0	0	0	3
女性	2	3	2	0	4	0	2	13
合計	4	3	3	0	4	0	2	16

4. 要介護度状況

	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	平均介護度
男性	2	1	0	0	0	1.33
女性	1	6	4	2	0	2.54
合計	3	7	4	2	0	2.31

5. ADL 状況

移動形態

	男性	女性	計
独歩	2	8	10
歩行器（杖）	1	0	1
車椅子（自操）	0	1	1
車椅子（介助）	0	4	4
計	3	13	16

食事

	男性	女性	計
自立	3	7	10
見守り	0	3	3
一部介助	0	2	2
全介助	0	1	1
計	3	13	16

排泄

	男性	女性	計
自立	3	4	7
見守り	0	3	3
一部介助	0	4	4
全介助	0	2	2
計	3	13	16

入浴

	男性	女性	計
自立	3	4	7
見守り	0	2	2
一部介助	0	2	2
全介助	0	5	5
計	3	13	16

洗面

	男性	女性	計
自立	3	6	9
見守り	0	2	2
一部介助	0	3	3
全介助	0	2	2
計	3	13	16

更衣

	男性	女性	計
自立	3	6	9
見守り	0	1	1
一部介助	0	1	8
全介助	0	5	5
計	3	13	16

6. 理髪実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男性	2	1	2	2	2	1	1	1	1	1	0	1	15	1.25
女性	4	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	4	56	4.67
計	6	6	7	7	6	6	6	5	6	6	5	5	71	5.92

7. 外出、外泊、面会状況

月別外出（通院含む）、外泊者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外出	3	3	3	2	4	3	7	2	5	0	1	7	40
外泊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

外出、外泊回数内訳

	無し	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25以上
外出	10	7	3	0	0	0	0
外泊	18	0	0	0	0	0	0

月別面会者数（リモート含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延人数	5	5	5	11	15	9	12	7	13	8	10	10	110

面会者数内訳

	無し	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25以上
人数	1	13	3	1	0	1	0

8. 年間行事実施状況

月日	行事	実施内容	参加人数
4/12	桜祭り	桜や季節についての話と、季節の唄を唄い、お菓子や飲み物を召し上がって頂く。	16名
5/10	端午の節句	季節のお菓子や飲み物を召し上がっていただき、気分転換を行う	16名
5/23	外食の日	「夢庵・サブウェイ」からテイクアウトし、食事を楽しんでいただく	16名
6/14	あじさい祭り	季節の話と、玉子運び等のゲームを楽しんでいただく	15名
6/18	外食の日	「ピザハット」から宅配、なかま亭に出かけて食事を楽しんでいただく	16名
7/2	七夕祭り	七夕にまつわる話に耳を傾け、季節感のあるお菓子や飲み物を召し上がって頂く。	16名
7/17	外食の日	「くら蔵」から鰻重をテイクアウト、「びっくりドンキー」にて、食事を楽しんで頂く。	16名
8/22	夏祭り	お祭りの雰囲気を作り、ゲームや出店の食べ物を楽しんでいただく	15名

月日	行事	実施内容	参加人数
9/17	お月見会	お月見に関するスピーチやお菓子、飲み物を召し上がって頂き、気分転換を図って頂く。	15名
9/24	外食の日	「くら蔵」からテイクアウトをしてお弁当を楽しんでいただく	15名
10/19	秋冬衣類販売	ご自分で好きな洋服を購入し、買い物を楽しんでいただく	6名
10/19	ハロウィンパーティー	利用者、職員共に仮装をして、パーティーを楽しんでいただく	15名
10/22	外食の日	「高倉町コーヒー」からテイクアウトし食事を楽しんで頂く。	14名
12/19	クリスマスパーティー	クリスマスソングやサンタからのプレゼントをもらい、クリスマスを楽しんでいただく	14名
1/1.2	初詣	阿豆佐味天神社へお参りし、新年を祝う	13名
1/12	新年会	新年を利用者皆様でお祝いし、利用者同士の交流と気分転換を図る	12名
2/3	節分・鬼払い	職員が扮した鬼に豆まきと厄払いを行い、健康を祝う	13名
3/3	雛祭り	雛あられなどのお菓子を頂きながら、無病息災を願う	13名

9. 花梨行事外出・活動実施状況

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
書道	回数	7	7	7	5	3	5	7	6	5	7	6	7	72
	参加者	55	53	40	28	36	52	53	47	31	45	37	56	533
カラオケ	回数	17	19	16	20	19	21	20	23	21	26	23	25	250
	参加者	130	161	138	163	174	151	180	131	106	162	164	150	1810
屋内レク	回数	23	29	29	27	28	30	29	30	31	31	27	29	343
	参加者	213	275	250	284	288	258	269	240	206	250	228	234	2995
屋外レク	回数	7	5	2	3	2	14	7	6	6	12	13	12	89
	参加者	34	23	8	6	5	69	28	33	18	56	45	62	387
制作	回数	5	1	2	0	0	3	3	4	4	4	0	3	29
	参加者	34	1	14	0	0	12	14	20	16	14	0	13	138
計	回数	59	61	56	55	52	73	66	69	67	80	69	76	783
	参加者	466	513	450	481	503	542	544	471	377	527	474	515	5863

10. 評価・課題

(1) 評価

- 1. 昨年度の医療面の対応強化に加え、薬局変更に伴い居宅療養管理として配薬セットの対応を職員から薬局に移すことによって、誤薬等の人為的インシデントの減少を図ることができた。
- 2. 6年ぶりの立川市による運営指導が実施された。日々の業務での取り組みが評価され、数件の文書指摘で終わることができた。
- 3. 年間を通して居室(個室)での対面面会が継続でき、外食の日やご家族との外出の対応も可能として、利用者の施設外での活動の幅が広がった。

(2) 課題

- 1. 重度化する利用者が多くなり、終末期対応や救急対応をする回数が増える中で、職員のスキルや対応力に差が出ているため、質の向上、技術の習得ができるように、内外の研修への参加等を進める。
- 2. 年間業績がこれまでの運営で一番悪く、経営の立て直しが急務であり、業務内容の見直しをして人件費等の支出削減、ポータルサイト等の活用による利用者の確保などを進めていき、経営の安定を図っていく。

V. 西砂第三学童保育所

1. 在籍者状況

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
4月	14	7	12	8	1	0	42
5月	14	7	12	8	1	0	42
6月	15	7	11	8	1	0	42
7月	15	7	11	8	1	0	42
8月	15	7	11	8	1	0	42
9月	15	8	10	8	1	0	42
10月	15	8	9	8	1	0	41
11月	14	8	7	8	1	0	38
12月	14	8	7	7	1	0	37
1月	15	8	7	7	1	0	38
2月	15	8	7	7	1	0	38
3月	14	8	5	7	1	0	35

2. 学童保育所活動実施状況

	活動内容		活動内容		活動内容
4月	西砂第三学童保育所 オリエンテーション	9月	お誕生日会(8・9月)	1月	冬休み一日保育
	春休み一日保育	10月	ハロウィパーティー		伝承遊び大会
	新入所児歓迎会	11月	マフラー作り		お誕生日会(12・1月)
			芋掘り体験		お楽しみランチ(豚汁)
5月	キラキラカード作り	12月	入所申請受付開始	2月	節分おやつ
	お誕生日会(4・5月)		お誕生日会(10・11月)		バレンタインおやつ
	運動会振替休日一日保育	3月	クリスマスリース作り	3月	入所説明会
6月	ネコまくら作り		避難訓練(地震)		お誕生日会(2・3月)
	避難訓練(火災)		お楽しみランチ		お楽しみランチ 2回実施
7月	お誕生日会(6・7月)		クリスマスおやつ		お別れ会
	お楽しみランチ(ガスト)		冬休み一日保育		春休み一日保育
8月	夏休み一日保育				
	お楽しみランチ(カレー)				

3. 評価・課題

(1) 報告事項

-1. 職員と保護者のトラブルについて

4月からの1日保育の登所時間(8時～9時の間に登所と決まっている)が、8時前に登所し門の前で待つ児童がいたため8時前に来る事は原則禁止と保護者へ連絡帳にて伝えたが、その保護者と職員が電話対応でトラブルとなり西砂ホームへクレームが入る事態となった。ホームより連絡を受け保育所長自ら謝罪の連絡を入れ保護者と和解。トラブルを起こす職員においては以前より言葉の言い回し、電話対応について指導をしているがあまり改善されずに至る。今後も大きなトラブルに発展することのないよう、学童職員全体で共有し最善対応を目指していきたい。

-2. 児童同士のトラブルについて

4年在籍男子Aさんと新入所児3年女子Bさんの間でトラブルとなり女子児童は退所。Aくんは日々誹謗中傷等で学校、学童保育所でトラブルが絶えない。その都度保護者へ連絡を入れ対応をしていたが、Bさんと下校中に傷つける言葉を言ったり、学童保育所内での遊び中もBさんをターゲットにして仲間外れや、ぶりっ子などの言葉を使う行為を行ったとの事。突然のBさんの保護者からの連絡で事実確認を行いAくんの保護者(父親)へ連絡を入れ対応に当たった。Bさんの保護者は学童保育所の対応に感銘を受けたとのことだったが、結局のところ退所となり、経緯を本庁へ書面として提出している(事象報告書)。

-3. 長期休業中の配膳について

令和7年度の長期休業中(夏季休業より実施)より、配食サービスが実施された。保護者と業者間でのやり取りを行い、学童保育所では納品された弁当を注文書リストで確認し、配膳を行い、業者が引き取りに来るという流れである。全体の2割程度が利用しており、今後も増加傾向であると考えられる。学童保育所でも、お楽しみランチの提供回数を間食費の中から試行錯誤しながら増やせる努力を行っている。

(2) 評価・反省・改善すべき点

-1. 職員と保護者とトラブルが起きたが迅速な対応を行い大きなトラブルに発展することなく解決できた。今後においてもすぐに判断し対応をすることが重要だと再確認した。

-2. ランチ提供については、目標としていた回数を達成できた。今後も無理のない程度で提供回数を増やせるよう検討していきたい。

(3) 改善すべき点

-1. 個々に責任を持って保育に従事する事がまだまだ不十分であり、今後も改善点も含め話し合いを行いながらより良い保育を目指していきたい。

- 2. 保護者対応は非常に難しい問題ではあるが、コミュニケーションを率先して取れるようこころがけていきたい。
- 3. 児童間のトラブルについては、職員が子ども達と関わり合い、何気ない会話から子ども達の SOS を察知することができる為、会話をする、話を聞く事を念頭に置いて保育に従事していく必要がある。どんな些細な出来事でも、職員間で共有し、問題があれば解決できる体制を整えていきたい。